

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		一般介護予防事業費（特別会計）[東大和元気ゆうゆうポイント事業]										
予算科目	款	4	地域支援事業費	項	2	一般介護予防事業費	目	1	一般介護予防事業費	事業番号	1	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	高齢介護 課					高齢福祉 係		課長名	伊野宮 崇			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	2 - 2			
【施策名】 高齢者保健福祉の推進								総合計画書 (ページ)	51			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内在住の65歳以上の方					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内65歳以上の高齢者数(令和2年4月1日)						
	→											
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 高齢者の健康寿命の延伸 介護予防活動の活性化					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 登録活動数 延参加人数						
	→											
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。 介護予防活動に1回参加することに1ポイントを付与した。 参加者が取得したポイントについては、交換期間中に、所定のポイントごとに景品と交換を行った。 事業は、社会福祉協議会に委託した。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 景品交換数						
	→											
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	22,711	22,902	23,062						
	成果指標	②の数値	件 人	57 38,989	61 36,495	57 15,470						
	目 標	②の目標値	件 人		57 42,877	61 40,144						
		目標値設定の考え方 延参加人数を前年度実績の1割増に設定した。										
活動指標	③の数値	件	652	907	466							
3 経費	事業費(実績)		円	2,725,600	3,504,969	2,183,086		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。 その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,905,600	3,504,969	2,183,086						
		特定財源(国・都・他)	円	820,000	0	0						
		(うち受益者負担)	円									
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人	0	0	0						
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000						
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	3,550,000	4,335,969	3,021,086							
4 環境変化等	(1) 開始年度 平成29 年度											
	(2) 環境の変化											
	平成29年度から開始した事業であり、今後参加者の増加が求められる。											

事業名称	一般介護予防事業費（特別会計）〔東大和元気ゆうゆうポイント事業〕			
担当部署・課長名	高齢介護	課	高齢福祉	係 課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	ゆうゆうポイント事業の特例の内容についてポイント付与の対象活動を拡大して欲しい。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	事業の拡大に向け運営方法の見直し			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。			
	景品拡充に向けて委託先である東大和市社会福祉協議会と協議を行った。また、新型コロナウイルス感染症による活動自粛の影響を少なくするため、個人での活動についてもポイント付与の対象とできる制度の変更を行った。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
8	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	事業の拡大に向け運営方法の見直し			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
	施策名： 高齢者保健福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】			
	景品を充実させ、参加者の拡大を目指す。また、引き続き新型コロナウイルス感染症による活動自粛の影響を少なくできるような工夫を行う。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
社会福祉協議会と調整が必要。				